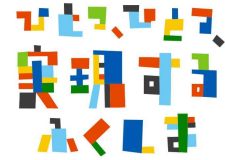


## 主要な農作物の生育情報

令和5年度 第2号

(令和5年5月9日現在)

福島県農林水産部農業振興課



### 【作物】

#### 1 水稲

移植栽培の播種作業は、始期（5%終了）が4月7日（平年差-2日）、盛期（50%終了）が4月16日（平年差±0日）、終期（95%終了）が4月24日（平年差-1日）となりました。苗の生育は概ね順調です。

#### 2 小麦（農業総合センターの作柄解析試験より）

本部（郡山市）、会津地域研究所（会津坂下町）、浜地域研究所（相馬市）における出穂期は平年より7～11日早くなりました。草丈は平年より長く、茎数は平年より少なくなっています。葉齢は、会津地域研究所で平年より1.1葉多くなっています。

表1 農業総合センターにおける小麦の生育状況

調査場所	品種	は種期 (月.日)	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	5月1日調査		
					草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢
本 部	きぬあずま	10.20(+2)	4.18(-7)	(6.14)	94.2(110%)	603(80%)	10.6(-0.2)
会津地域研究所	ゆきちから	10.5(±0)	5.1(-8)	(6.17)	73.9(141%)	491(76%)	15.0(1.1)
浜地域研究所	きぬあずま	10.21(-6)	4.13(-11)	(6.9)	96.5(118%)	610(93%)	11.3(0.3)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市。

注2) ( )内の数字は前5年平均との比較。本年値未の場合、( )内は平年値。

注3) 本年、浜地域研究所の草丈は全長（穂の頂部まで）を測定した値（平年値は草丈の値）。同じく、浜地域研究所の茎数は穂数を測定した値（平年値は茎数の値）。

### 【野菜】

#### 1 アスパラガス

半促成栽培について、県北地方の春どりは、5月上旬に終了する見込みで、多くのほ場で順次立茎が始まっています。会津地方の春どりは平年より7日程度早い4月中旬に最盛期となりました。

露地栽培について、会津地方の春どりは、平年より7日程度早い4月中旬から始まっています。

#### 2 きゅうり

無加温半促成栽培について、伊達地方、須賀川地方ともに、平年並の4月下旬から収穫が始まっています。高温・乾燥により、節間長がやや短い傾向にあります。病害虫は一部のは場でアザミウマ類やハダニ類の発生が見られています。

#### 3 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型では、播種が平年並の2月上旬から行われ、定植は4月上旬から順次行われています。収穫は平年並の6月中旬頃から始まる見込みです。

南会津地方では、播種が平年並の4月6日から行われ、仮植は4月下旬に行われました。定植は平年並の5月下旬から行われる見込みです。

#### 4 春ブロッコリー

県南地方では、定植は4月中旬までに行われ、生育は順調に推移しています。収穫は平年並の5月中旬から6月中旬の見込みです。

## 【果 樹】

- 1 もも  
満開は、「あかつき」「ゆうぞら」ともに4月5日でそれぞれ平年より14日または15日早くなりました。現在、幼果期に入っています。
- 2 なし  
満開は、「幸水」が4月11日、「豊水」が4月8日でともに平年より14日早くなりました。現在、幼果期に入っています。
- 3 りんご  
満開は、「ふじ」「つがる」ともに4月14日でともに平年より16日早くなりました。現在、幼果期に入っています。
- 4 おうとう  
「佐藤錦」の満開は、4月13日で平年より12日早くなりました。現在、幼果期に入っています。
- 5 ぶどう  
「巨峰」の展葉は、4月14日で平年より10日早くなっています。

表2 開花状況（農業総合センター果樹研究所）

樹 種	品 種	開花始め			満開		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
も も	あかつき	3月31日	4月13日	4月10日	4月5日	4月19日	4月13日
	ゆうぞら	4月1日	4月14日	4月11日	4月5日	4月20日	4月13日
な し	幸 水	4月7日	4月20日	4月14日	4月11日	4月25日	4月21日
	豊 水	4月5日	4月16日	4月12日	4月8日	4月22日	4月18日
りんご	つ が る	4月10日	4月25日	4月21日	4月14日	4月30日	4月25日
	ふ じ	4月10日	4月26日	4月22日	4月14日	4月30日	4月25日
おうとう	佐藤錦	4月6日	4月18日	4月13日	4月13日	4月25日	4月22日

注) 平年は1991～2020年の平均値、もも「あかつき」の調査樹は2022年より変更

表3 発芽・展葉状況（農業総合センター果樹研究所）

樹 種	品 種	発芽			展葉		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
ぶどう	巨 峰	4月6日	4月17日	4月13日	4月14日	4月24日	4月22日

注) 平年は1998～2020年の平均値、ぶどう「巨峰」の調査樹は2021年より変更

## 【花 き】

- 1 コギク  
定植は、8月咲きでは平年並の4月下旬に行われ、終了しています。一方、9月咲きでは平年並の5月定植に向け、挿し芽及び育苗が順調に進められています。  
目立った病害虫の発生は見られていません。
- 2 リンドウ  
萌芽は、昨年より1週間から3週間程度早く、その後の生育も早い状態が続いています。特に積雪地帯では、融雪が早いことや気温が高く推移したことにより、生育前進の傾向が顕著に見られます。茎の伸長に伴い芽整理の作業が始まっており、順調に進んでいます。  
葉枯病やハダニ類、リンドウホソハマキが、一部地域で発生しています。

## 【飼料作物】

牧草は、気温が高く推移した一方で降水量は例年より少なく、生育はほぼ平年並です。  
飼料用とうもろこしは播種適期を迎え、播種作業が進められています。

◎ 防霜対策については、福島県農林水産部農業振興課（ホームページ）  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu> 等を  
活用し、適切に対応してください。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>